岩手県感染症週報

平成25年第4週（1月21日～1月27日）　　岩手県感染症情報センター

第4週の概要

１類感染症　・患者発生の報告はありませんでした。

２類感染症　・結核の報告が６例（潜在性結核感染症例１例）ありました。

３類感染症　・患者発生の報告はありませんでした。

４類感染症　・患者発生の報告はありませんでした。

５類感染症（全数把握対象疾患）

・患者発生の報告はありませんでした。

５類感染症（定点把握対象疾患）

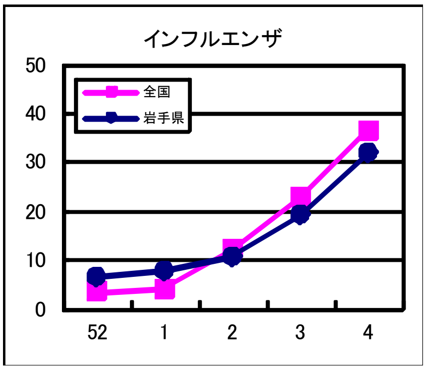
・インフルエンザは、県内すべての地区で前週より増加し、定点あたり患者数31.63人と警報値（30人）を超えました。本疾患は、発熱（38℃以上の高熱）、頭痛、筋肉痛、関節痛などが突然現れ、咳、鼻汁などの呼吸器症状が続きます。症状が出た場合や、「かかったかな?」と感じた場合は、重症化防止のため48時間以内の医療機関への受診が勧められます。発症後５～７日間はウイルスを排出するといわれており、熱が下がったとしてもすぐに登校（出勤）しない、咳・くしゃみなどの症状がある場合にはマスクをするなど、周囲への配慮が勧められます。

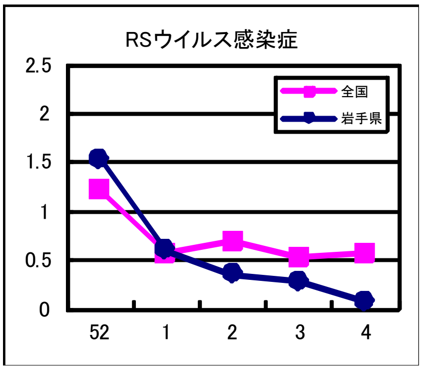
・感染性胃腸炎は、中部および久慈地区でやや多くなっています。ノロウイルスによる集団感染事例が発生しており、引き続き注意が必要です。予防には、石けんと流水による手洗いと、患者の便や吐物にはウイルスが含まれているものとして注意し適切な処理を行うことが重要です。

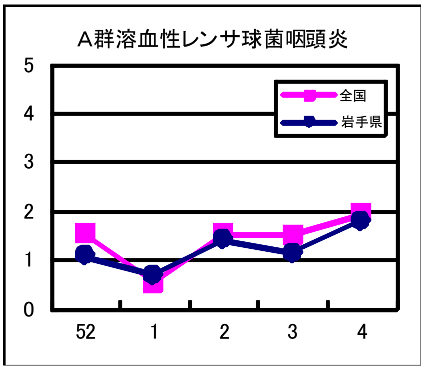
・伝染性紅斑（リンゴ病）は、盛岡市で警報値（同2人）を超えているほか、県央、宮古および大船渡地区でも報告数が多くなっています。

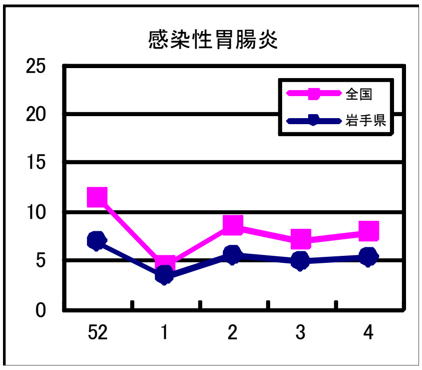
最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去５週の動き）

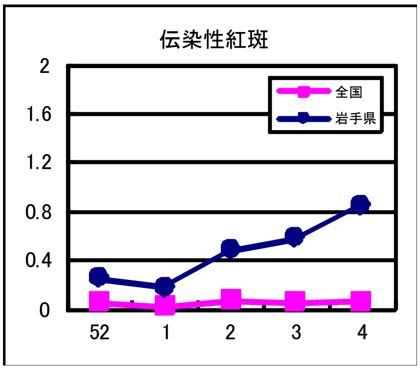
（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）

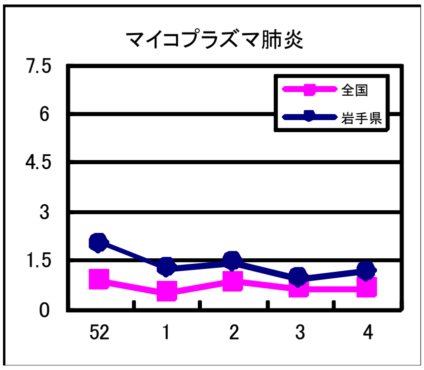












定点把握対象疾患（過去５週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		52	1	2	3	4		
インフルエンザ	岩手県	6.42	7.63	10.55	18.88	31.63	↗	☆☆☆
	全国	3.35	3.91	12.07	22.58	36.44		
RSウイルス感染症	岩手県	1.53	0.6	0.35	0.28	0.08	↘	
	全国	1.21	0.57	0.69	0.53	0.57		
咽頭結膜熱	岩手県	0.08	0.05	0.08	0.15	0.15	→	☆
	全国	0.43	0.18	0.36	0.23	0.29		
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.08	0.68	1.4	1.13	1.8	→	☆
	全国	1.52	0.53	1.53	1.51	1.94		
感染性胃腸炎	岩手県	6.83	3.35	5.48	4.85	5.28	→	☆
	全国	11.39	4.36	8.44	7.04	7.85		
水痘	岩手県	1.2	1.63	1.28	0.63	0.88	→	☆
	全国	2	1.67	1.92	1.12	1.34		
手足口病	岩手県	0.43	0.2	0.15	0.15	0.1	→	☆
	全国	0.32	0.13	0.16	0.19	0.18		
伝染性紅斑	岩手県	0.25	0.18	0.48	0.58	0.85	→	☆☆
	全国	0.05	0.02	0.07	0.05	0.06		
突発性発疹	岩手県	0.35	0.2	0.33	0.23	0.33	→	☆
	全国	0.42	0.19	0.5	0.46	0.45		
百日咳	岩手県	0	0	0	0.03	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.03	0	0	0.03	0	→	
	全国	0.04	0.01	0.02	0.02	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.35	0.63	1.05	0.88	0.63	→	☆
	全国	0.28	0.19	0.34	0.23	0.2		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0.07	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.03	0.02	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.5	0.64	0.43	0.5	0.5	→	☆
	全国	0.55	0.36	0.69	0.46	0.49		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0.05	0.05	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	2	1.26	1.42	0.95	1.16	→	☆
	全国	0.89	0.52	0.83	0.62	0.63		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.01	0.05	0.03	0.04		

【流行傾向の見方】
- 無印　：ほとんど患者が発生していません
- ☆　　：患者が発生しています
- ☆☆　：警報値を超えた地区が１～２地区あります
- ☆☆☆：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去５週の動き）

（患者発生数）

	疾病名	岩手県（週）						全国	
		52	1	2	3	4	累計	4	累計
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核（ ）内は潜在性結核感染症患者数	15 (8)	5 (2)	1 (1)	7 (3)	6 (1)	19 (7)	353	1395
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（Ｈ５Ｎ１）	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	6
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	11	36
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	5
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	4
四類感染症	Ｅ型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	3
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ａ型肝炎	0	0	0	0	0	0	2	5
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ｑ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	3	19
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	8
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（Ｈ５Ｎ１を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ｂウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	4
	野兎病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	16	54
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	1	1
	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0

全数把握対象疾患（続き）（過去５週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県（週）52	1	2	3	4	累計	全国 4	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	1	0	1	15	58
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	2	11
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	0	10	38
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	2	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	4	18
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	12	70
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	4
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	梅毒	0	0	0	0	0	0	14	59
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	5
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	9
	風しん	0	0	0	0	0	0	76	254
	麻しん	0	0	0	0	0	0	7	18

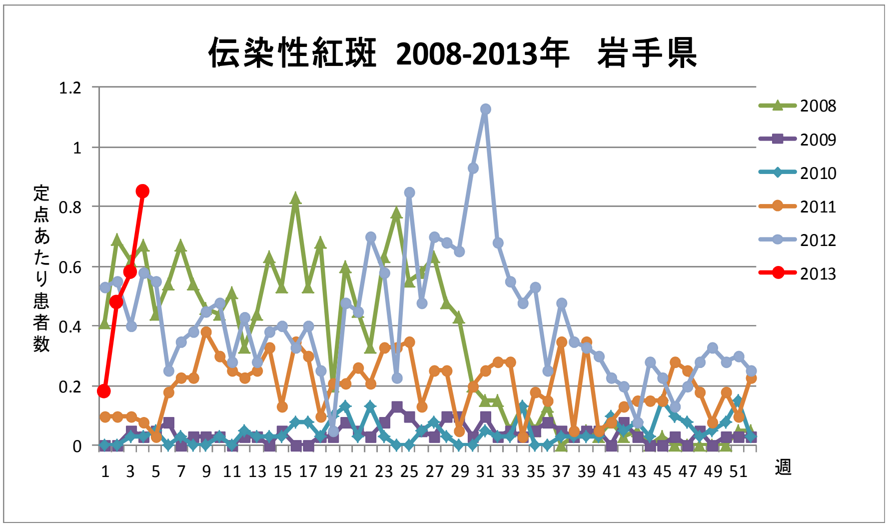
今注目の感染症

伝染性紅斑

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスＢ19を病原体とし、４～５歳の幼児を中心に幼児、学童に好発する流行性の発疹性の疾患です。典型例では両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」という俗名があります。

本疾患は、感染後10～20日で両頬の境界鮮明な紅斑が出現し、続いて四肢に両側性のレース状の紅斑が見られます。成人では、両頬の境界鮮明な紅斑は少なく、関節痛・頭痛が多く見られます。また、頬に発疹が出現する7～10日くらい前に、微熱や感冒様症状などの症状が見られる例がありますが、この時期にウイルス血症をおこしており、ウイルスの排泄量ももっとも多くなります。発疹が現れたときにはウイルス血症は終息しており、ウイルスの排泄はほとんどないので周囲への感染性はほとんどないといわれています。

岩手県では、年の初めから7月頃にかけて報告数が多く、9月頃から年末にかけては報告数が少なくなるという流行状況です。今年の第4週は過去5年間と比較して報告数が多くなっています。



今注目の感染症（つづき）

感染性胃腸炎

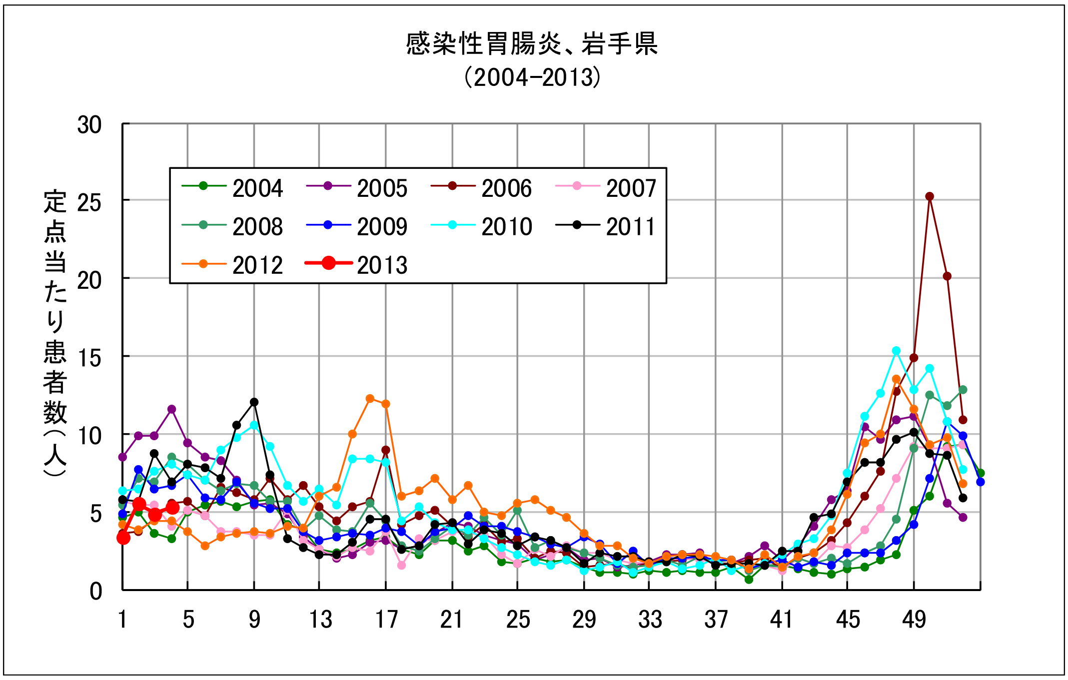
感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因は、ノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年の流行では、患者からは、流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが多く検出されています。

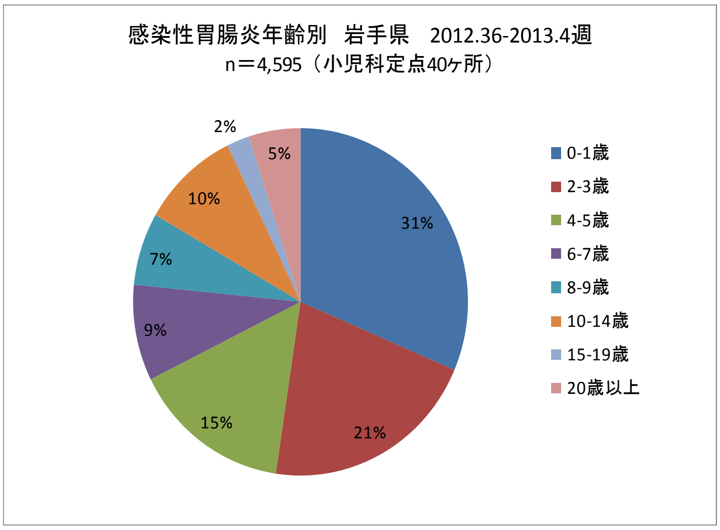
感染性胃腸炎の報告数は、例年11月に入ると急増し、12月中にそのピークを迎えるという流行を繰り返しています。流行の前半、感染性胃腸炎の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられています。ノロウイルス感染症の症状は、嘔気・嘔吐および下痢で、症状持続期間は平均1～2日と比較的短く、重症化して長期にわたり入院を要することは少ないのですが、特効薬はなく治療も対症療法となります。

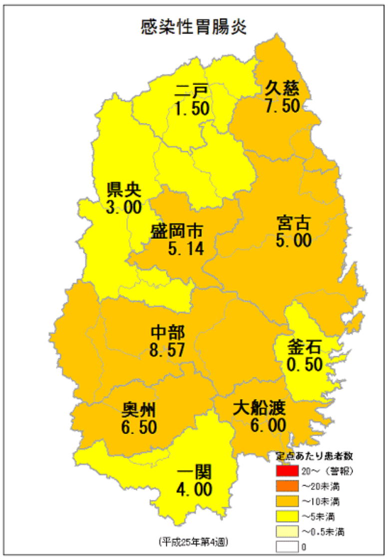
ノロウイルスの感染経路は、経口感染が主な感染経路です。感染力が強いので、保育園や幼稚園、小学校等の集団生活施設において、集団発生を引き起こすことがあります。

予防には、流水と石けんを用いた手洗いと、患者の汚物の適切な処理が重要です。

感染症情報センターホームページ「家庭等一般の方々へ」：http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-a.html、
「医療従事者・施設スタッフ用」：http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-b.html







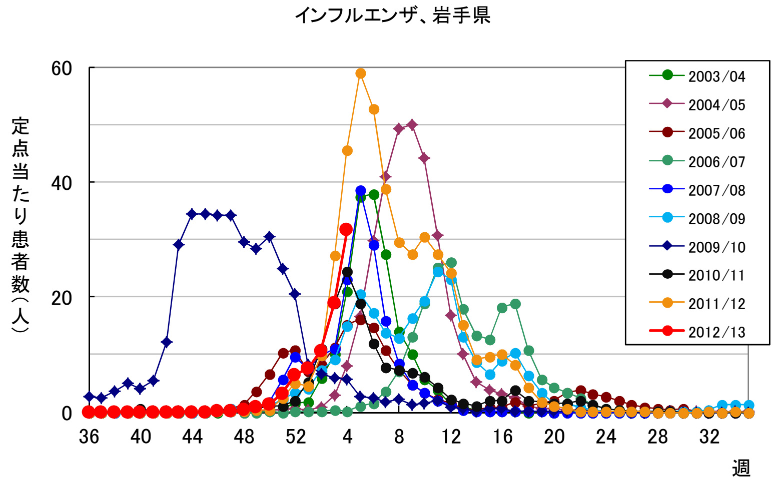
今注目の感染症（つづき）

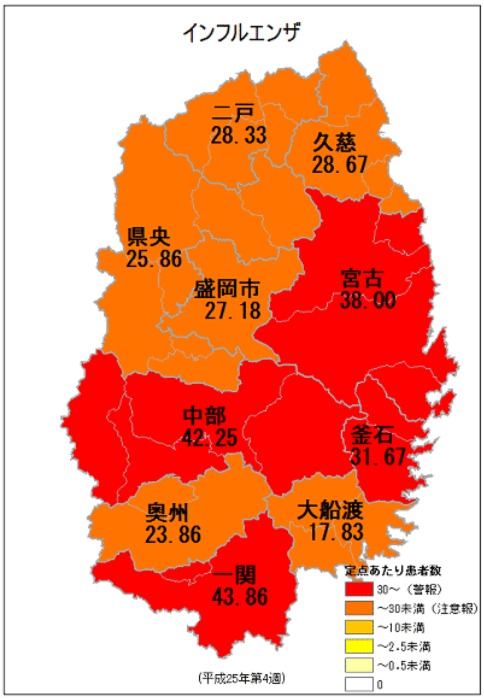
インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原とする気道感染症です。潜伏期間は１～３日間で、発熱（通常38℃以上の高熱）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現れ、咳、鼻汁などの上気道炎症状が続きます。約1週間ほどで軽快するのが典型的な症状ですが、いわゆる「かぜ」にくらべて全身症状が強く、重くなりやすい疾患です。

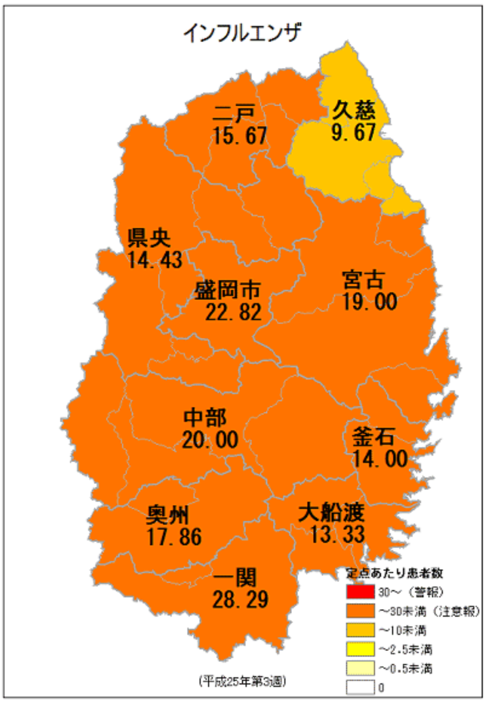
インフルエンザは例年、12月頃から流行が始まり、1月後半から2月初めにピークを迎えます。岩手県での今シーズンの発生状況ですが、第50週には流行の開始のめやすである定点あたり患者数1.0人を超えました。平成25年第2週には10.55人と注意報値（10人）を超え、第4週には31.63人と警報値を超えました。今後の感染拡大の動向に注意が必要です。

感染経路は、くしゃみ、咳、会話等で口から発する飛沫による感染と、接触感染とされています。予防には、流行前のワクチン接種、流水・石けんによる手洗い、咳エチケット、湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取などが重要です。なお、ワクチン接種による効果が出るまでに2週間ほどかかりますので、早めの接種が勧められます。





第４週



第３週

病原体検出情報

・インフルエンザの患者の咽頭ぬぐい液から、Ａ香港型インフルエンザウイルスを６件分離しました。
・ヘルパンギーナの患者の咽頭ぬぐい液から、Ａ群コクサッキーウイルス２型を１件分離しました。
・感染性胃腸炎の患者の糞便から、ノロウイルス遺伝子群Ⅱを４件検出しました。
・下気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、エコーウイルス６型を１件、アデノウイルス２型を２件、アデノウイルス５型を１件それぞれ分離しました。
・下気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、ライノウイルスを７件、単純ヘルペスウイルス１型を１件、パラインフルエンザウイルス１型を１件、パラインフルエンザウイルス３型を１件、ヒトメタニューモウイルスを１件それぞれ検出しました。
・発疹症の患者の咽頭ぬぐい液から、単純ヘルペスウイルス１型を１件、アデノウイルス１型を１件分離しました。
・肝機能障害の患者の糞便から、アデノウイルス１型を１件分離しました。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について（1月23日発表分）
　一関市内のグループホーム（利用者数18名、職員数18名）
・1月17日（木）から1月22日（火）にかけて10名（利用者5名、職員5名）に症状（嘔吐、下痢等）
・有症者2名中2名（利用者2名）からノロウイルスを確認

○インフルエンザによる学校等の休業措置について（1月28日～1月31日）
・岩手県発表　37件
・盛岡市発表　7件
詳細は、岩手県医療推進課のホームページをご覧ください。
http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=4104&ik=1&pnp=3324&pnp=4104

医療機関からの情報

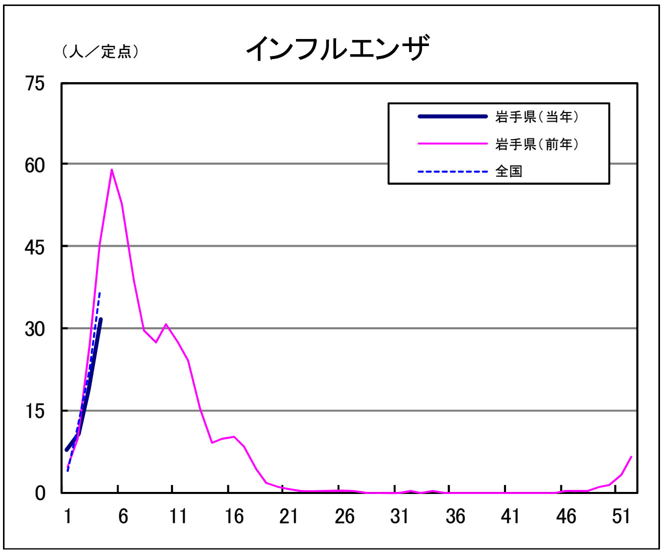
・この週には医療機関からの情報はありません。

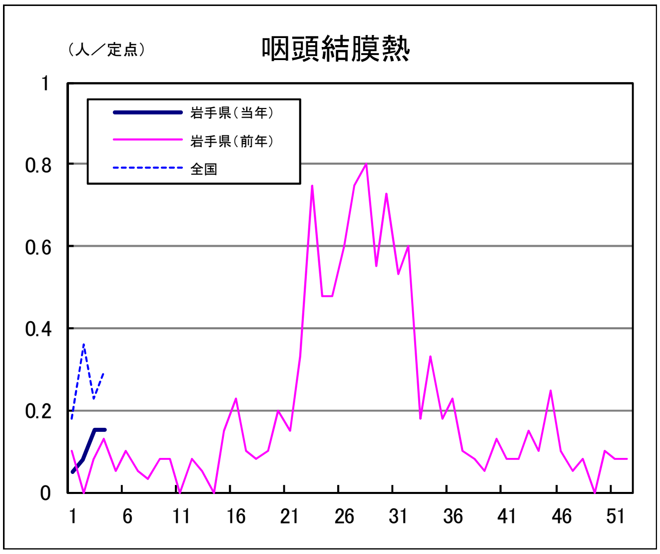
Q　&　A

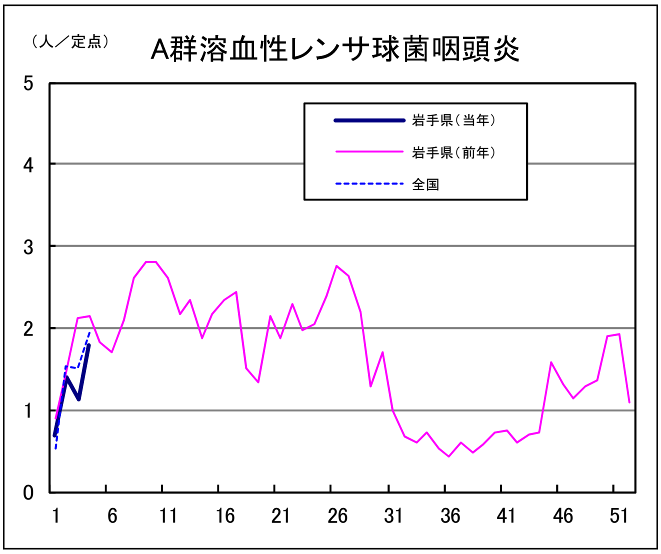
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

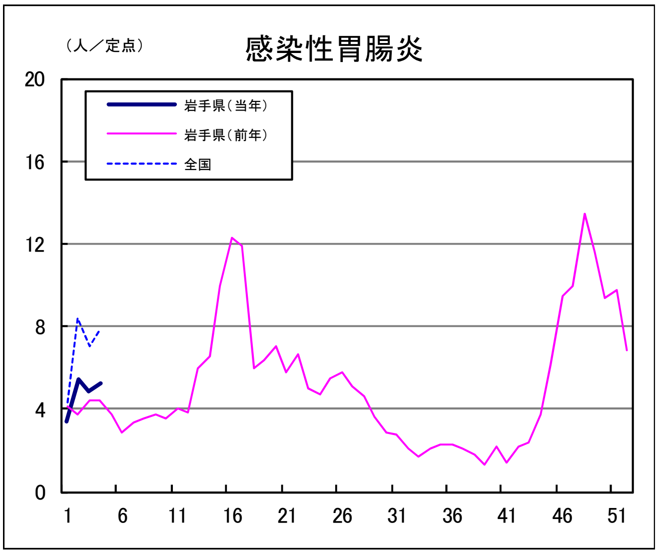
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）
TEL:019-656-5669（直通）　FAX:019-656-5667
E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

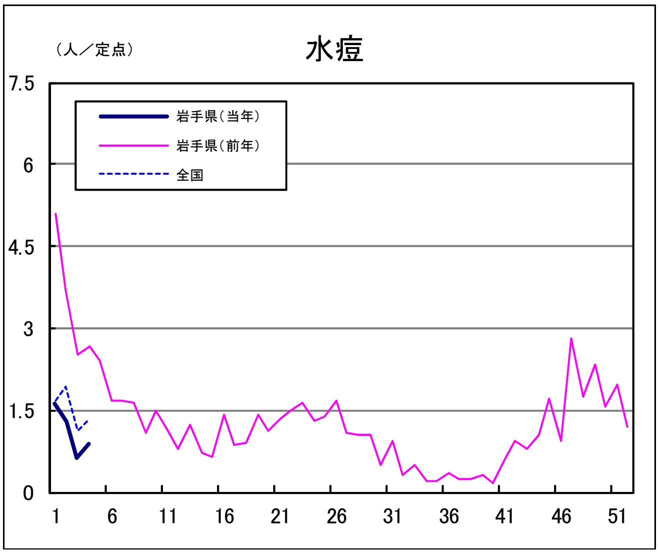
疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）

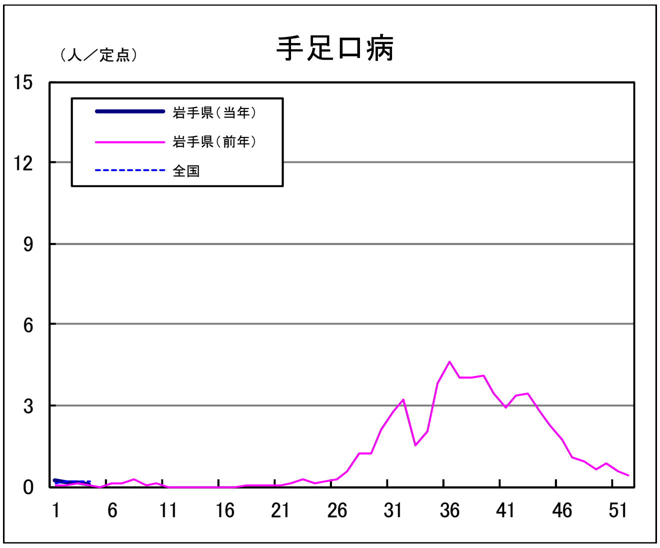


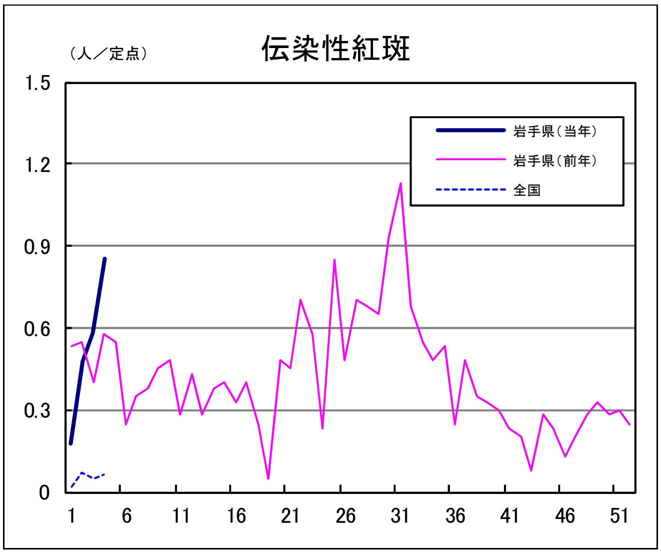


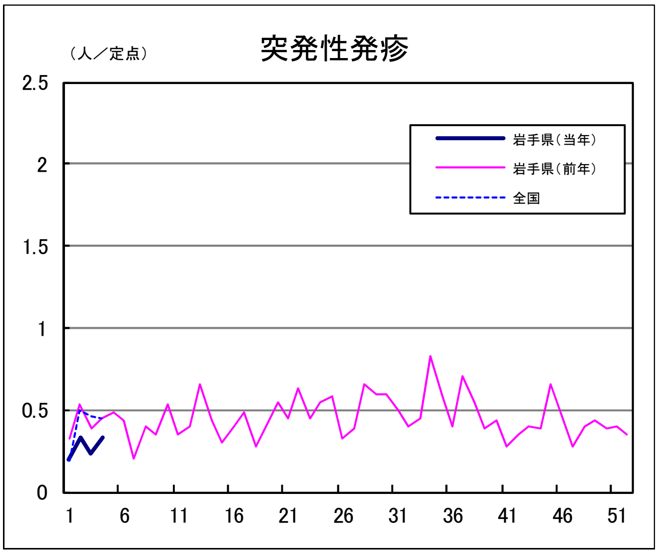


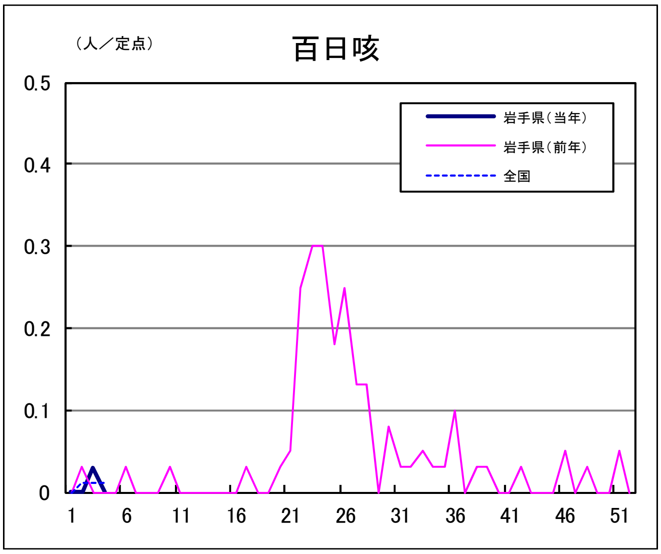


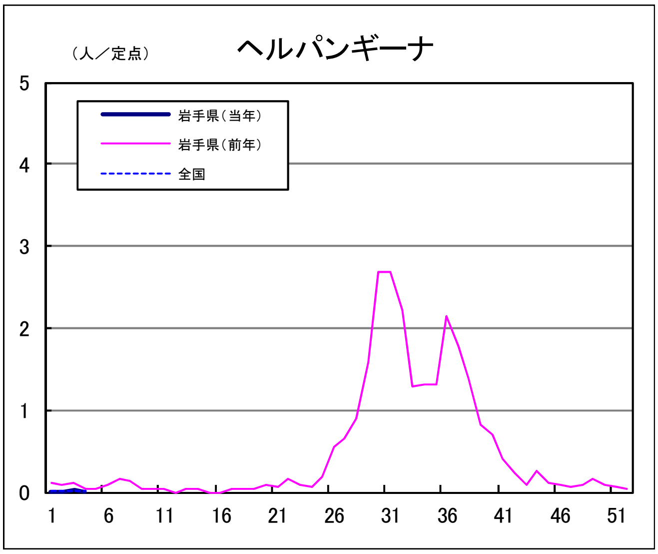


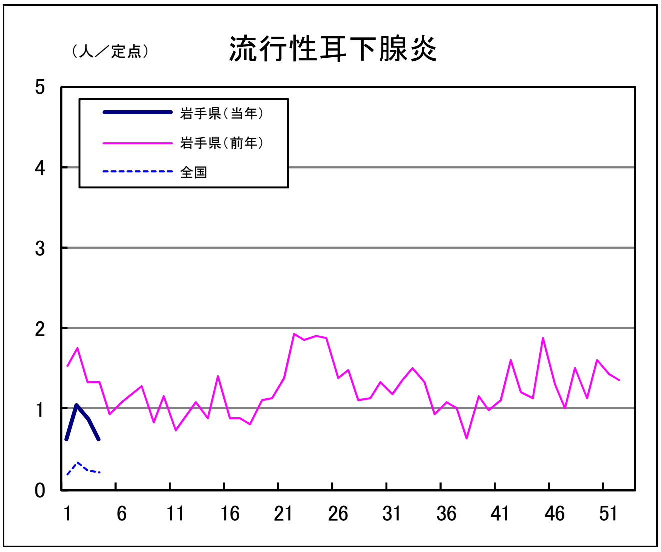


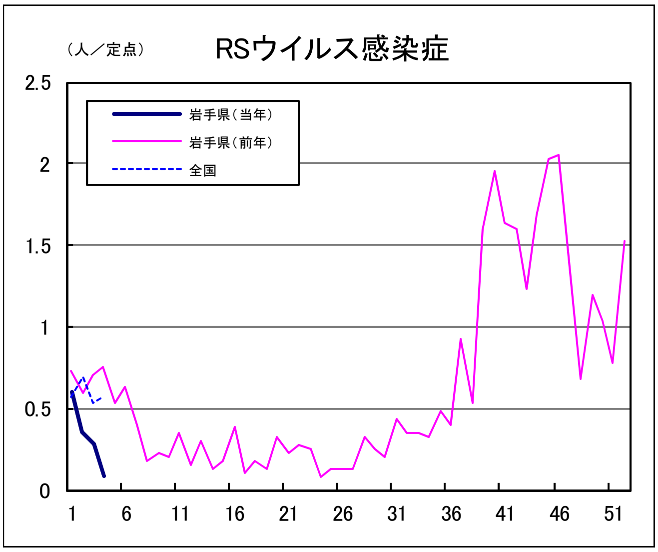

伝染性紅斑
（人／定点）
1.5
1.2
0.9
0.6
0.3
0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国

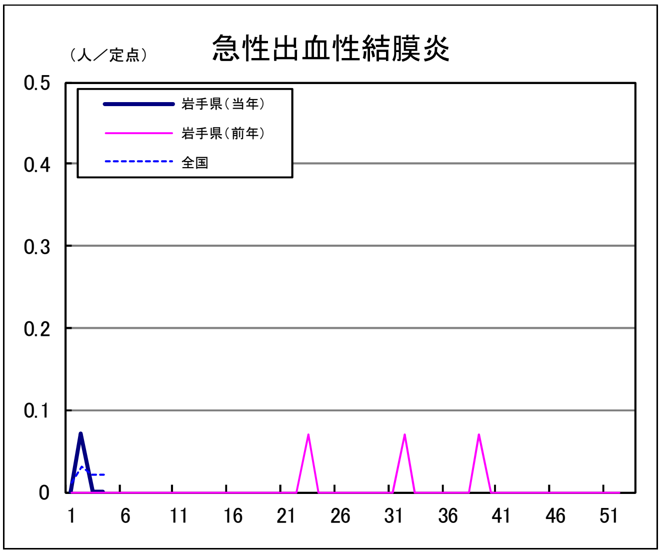

突発性発疹
（人／定点）
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国

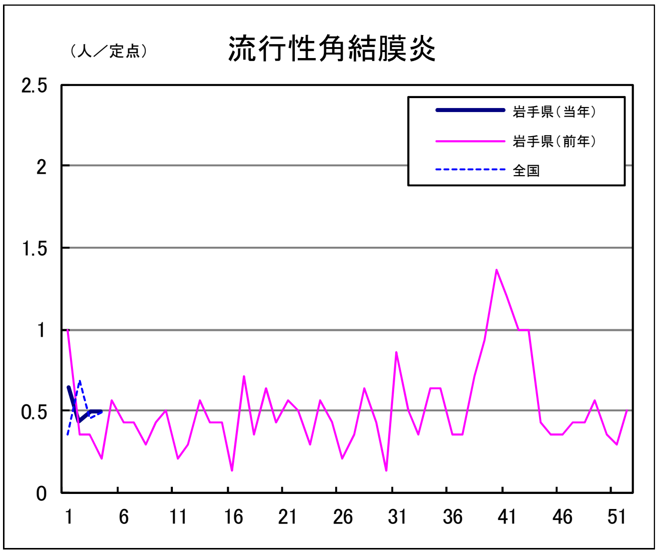

百日咳
（人／定点）
0.5
0.4
0.3
0.2
0.1
0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国

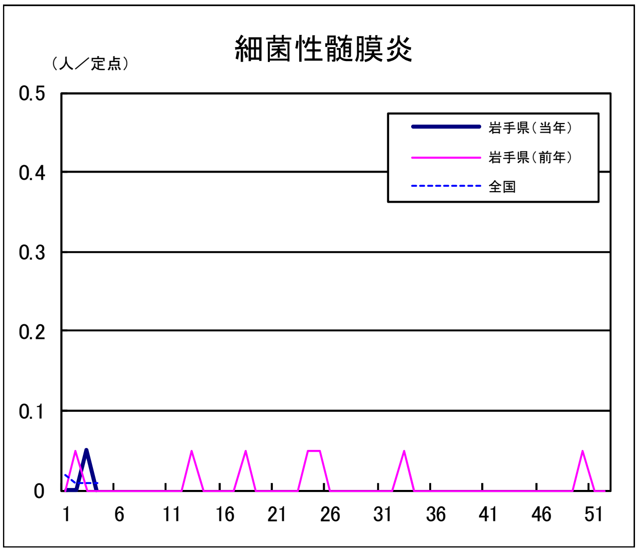

ヘルパンギーナ
（人／定点）
5
4
3
2
1
0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国

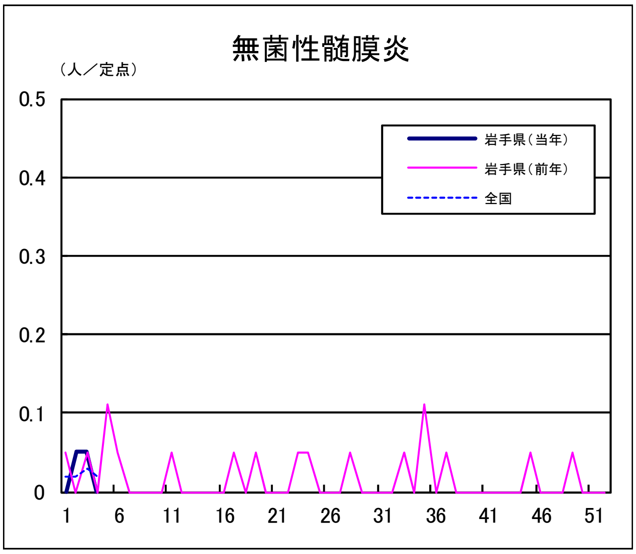

流行性耳下腺炎
（人／定点）
5
4
3
2
1
0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国

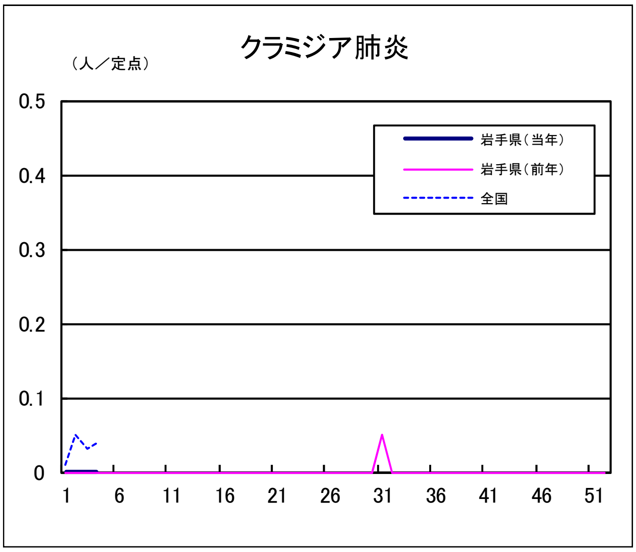

RSウイルス感染症
（人／定点）
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国

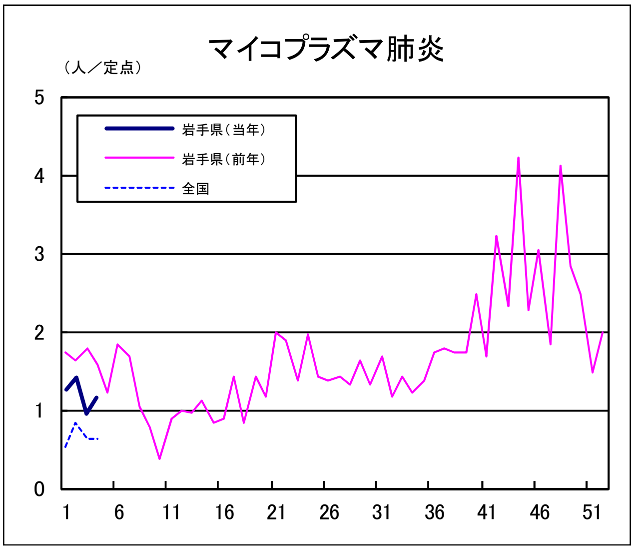

急性出血性結膜炎
（人／定点）
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国
0.5
0.4
0.3
0.2
0.1
0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51


流行性角結膜炎
（人／定点）
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国
2.5
2
1.5
1
0.5
0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51


細菌性髄膜炎
（人／定点）
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国
0.5
0.4
0.3
0.2
0.1
0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51

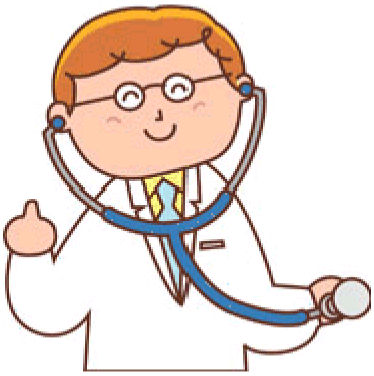

無菌性髄膜炎
（人／定点）
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国
0.5
0.4
0.3
0.2
0.1
0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51


クラミジア肺炎
（人／定点）
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国
0.5
0.4
0.3
0.2
0.1
0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51


マイコプラズマ肺炎
（人／定点）
岩手県（当年）
岩手県（前年）
全国
5
4
3
2
1
0
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51

定点医療機関の数

地区＼定点種別	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
花巻	7	4	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html

岩手県感染症週報　平成２５年第３週　平成２５年２月１日発行
監　修　：岩手県感染症発生動向調査委員会
発　行　：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療推進課
事務局　：岩手県感染症情報センター
（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）
TEL:019-656-5669（直通）　FAX:019-656-5667
E-mail：CC0019@pref.iwate.jp
URL　：http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/
＜岩手県感染症情報センター＞
http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345
＜岩手県保健福祉部医療推進課＞